

新約聖書の中の奥義 第22回 質疑応答

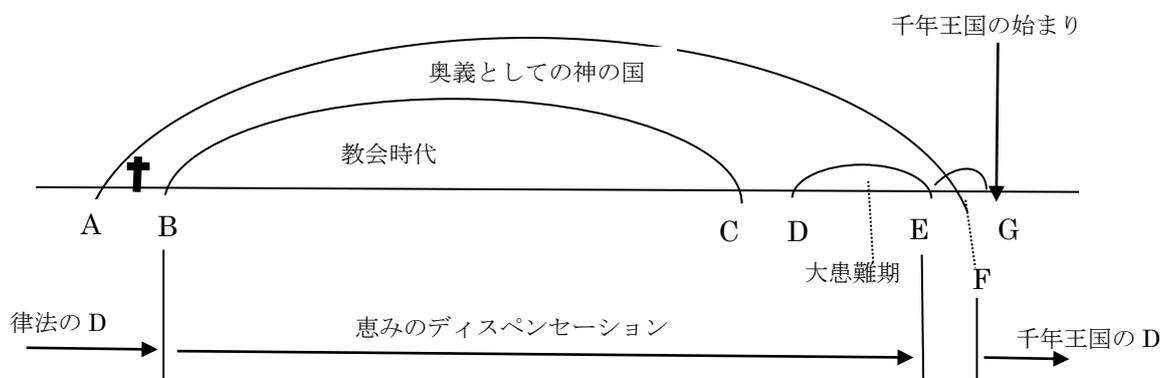
□ 前回の質問

「奥義としての神の国」の時代は、ディスペンセーションでの時代区分の「恵みの時代」と同じですか？

回答：ほとんど同じですが、始まりと終わりが少し違うので、「奥義としての神の国」の時代の中に、「恵みの時代」がすっぽりと含まれています。

下の図にあるように、「奥義としての神の国」は、イスラエルによるメシア拒否【A】から、諸国民の裁き【F】までの期間です。他方、「恵みの時代」は、紀元30年の聖霊降臨【B】から大患難期終了【E】までの期間です。

1. 「奥義としての神の国」は、イスラエルの指導者層がイエスをメシアではないと拒否したとき（マタイ 12 章）【A】から始まり、諸国民の裁き（マタイ 25 章）【F】で終わる。この期間の中に、教会時代と大患難期が含まれる。
2. 聖霊のバプテスマは、紀元 30 年五旬節の日に起きて、教会を誕生させ【B】、教会時代をスタートさせた。教会時代は、教会の携挙【C】をもって終了する。教会の携挙とは、教会の信者たちの復活と変換、そして天への携挙である。教会の携挙のあと、地上は、大患難期 7 年間を迎える。
3. 大患難期は、国家としてのイスラエルと、ある小国の君主反キリストとの同盟条約締結【D】をもって始まる。そして最後は、イスラエル民族の悔い改め・メシア受容・キリストの再臨、そして反キリストとその軍隊の壊滅【E】をもって、大患難期は終了する。
4. 大患難期終了【E】後、メシアの王国（千年王国）の始まり【G】までに 75 日間の準備期間がある。この期間に起きる出来事のひとつが、諸国民の裁き【F】である。大患難期を生き残った諸国民が、正しい者と悪い者へと区分され、正しい者は千年王国に入ることを認められる。これをもって、奥義としての神の国は終了する。



□ 「諸国民の裁き」に関連し、神の裁きについて補足

1. 神のさばきにおいて、さばく権威を持っておられるのは、父なる神である。

すべての人のさばき主である神 (=父なる神) (ヘブル 12 章 23 節)

人をそれぞれのわざにしたがって公平にさばかれる方を父と呼んでいるのなら (第一ペテロ 1 章 17 節)

2. 父なる神は、子なる神、イエス・キリストに、さばきを行う権威を与えた。キリストは救い主であるが、さばき主でもある。

父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子に委ねられました。(ヨハネ 5 章 22 節)

父は、さばきを行う権威を子に与えてくださいました。(ヨハネ 5 章 27 節)

イエスは、ご自分が、生きている者と死んだ者のさばき主として神が定めた方であることを、人々に、宣べ伝え、証しするように、私たちに命じられました。(使徒 10 章 42 節)

神は、日を定めて、お立てになった一人の方により、義をもってこの世界をさばこうとしておられるからです。神はこの方を死者の中からよみがえらせて、その確証を、すべての人にお与えになったのです。(使徒 17 章 31 節)

彼らは、生きている者と死んだ者をさばこうとしておられる方に対して、申し開きをすることになります。(第一ペテロ 4 章 5 節)

彼らとは、ユダヤ人信者たちを中傷する異邦人たち

3. 父なる神がイエス・キリストに委ねた裁きとは、3つの主要なさばきを指す。その3つの主要な裁きについては、次ページで扱う。聖書には、その3つの主要な裁きのほかにも神のさばきがある。その中から2つを挙げる。

(1) I ペテロ 4:7 「万物の終わり」、4:17 「さばき」・・・紀元 70 年のエルサレム陥落と神殿破壊、それに伴う多くのユダヤ人たちの死。これはマタイ 12 章の聖霊を冒瀆する罪を犯した、当時の「邪悪な世代」に対する神のさばきである。「さばきが神の家から始まる」とは、教会の信者たちが受ける苦難 (12~16 節) を指す。

(2) II ペテロ 3:7 「不敬虔な者たちのさばきと滅びの日」、3:10 「主の日」、3:12 「神の日」・・・大患難期 7 年間を指す。ノアの洪水が水によるさばきであった (3:6) ことと対比させて、「火で焼かれる」(3:7) とあるように、火による裁きである (例=黙 8:7、8、10)。13 節の「義の宿る新しい天と新しい地」とは、イザヤ 65:17 「新しい天と新しい地」の引用であり、メシアの王国を指す。

□ 神の3つの主要な裁き

	教会の信者の裁き	諸国民の裁き	死者の裁き
① 聖書箇所	I コリ 3 : 12~15、4 : 5 II コリ 5 : 10 II テモ 4 : 8 黙 19 : 7~8、14 黙 4 : 4	ヨエル 3 : 12~15 マタイ 13 : 47~50 49節 正しい者たちの中から マタイ 25 : 31~46 ダニ 12 : 11~12 (75日)	使徒 17 : 31 黙 20 : 10~15 ヨハネ 5 : 28~29 ダニ 12 : 2 マタイ 11 : 21~24
② 裁き主	キリスト	キリスト	キリスト
③ 対象者	教会の信者たち	大患難期を生き残った 諸国民 (異邦人)	信仰を持たずに 死んだ者の靈魂
④ 時期	天に携挙された後、子羊の 婚礼の前 大患難期の前	キリストの再臨後 75日間の中で	千年王国の終了後 今の天と地は消える
⑤ 場所	第三の天	地 ヨシャファテの谷	大きな白い御座の前
⑥ 対象者の 状態	携挙のときに復活・変換され、 栄光のからだを持って 生きている者たち	自然の体を持って 生きている者たち	死んだ者たち。よみから 戻され、不死の体と 与えられている
⑦ 裁きの 目的	報い、褒賞、称賛を与える 花嫁の用意をする 花嫁に輝くきよい亜麻布 をまとわせるため その亜麻布とは聖徒たち の正しい行い	信仰ある異邦人と、不 信仰の異邦人とを区分 する 信仰ある異邦人に王国 への入国を認める	火の池での刑罰の 軽い重いを判定する
⑧ 裁きの 基準	教会を建て上げる働きの 評価 (金・銀・宝石、木・ 草・藁) 善であれ悪であれ、それぞ れ肉体においてした行い	反キリストの支配下 で、いのちをかけて、 ユダヤ人を助けたかど うか (その前提は、信仰 を持ち、反キリストを拜 まない、獣の刻印なし)	それぞれの行い 数々の書物に記録さ れている いのちの書には名前 がないことを確認
⑨ 裁きの 結果	義の冠はじめ、各種の冠 白くきよい亜麻布の衣	御国を受け継ぎ、永遠 のいのちか、永遠の刑 罰 (肉体の死→よみを経て)	火の池へ 悪魔と悪霊たちも火 の池へ、よみと死も
⑩ いのちを 受ける人 の割合	100%	割合は不明 49節→過半は正しい者 か?	0%